

大会規則及び競技者注意事項

本大会は2018年〔財〕日本陸上競技連盟の競技規則と本大会の要項及び申し合わせ事項によって行う。

1 招集方法

- ①招集所は100mスタート地点付近に設ける(ただし、雨天等の場合は場所を変更する場合もある)。
- ②招集完了時刻は、競技開始時刻を基準として下記のように定める。
 - ・トラック競技は競技開始時刻の30分前に開始し20分前に完了。
 - ・フィールド競技は競技開始時刻の40分前に開始し30分前に完了。
- ③他種目と重なっているときには、その旨を本人若しくは代理人が競技者係に伝える。

2 リレーの出場について

- ①リレー競技に出場のチームは、オーダー用紙を招集開始時刻の1時間前までに競技者係に提出する。
- ②リレーのメンバー変更について、メンバーのうち少なくとも2名はそのリレーに登録した競技者でなければならないが、その条件を満たせば、同一団体に他の種目にエントリーしている競技者を出場させることも可能である(競技規則170条10)。及び、複数のリレーチームをエントリーしている団体の場合、他のリレーチームに登録している競技者を出場させること(例：Bチームに登録している競技者をAチームで出場させること)も可能とする。ただし、1人が2つ以上のチームに出場することは出来ない。

3 競技方法

- ①トラック競技は、写真判定装置を使用する。
- ②競走競技は、100m走以外はタイムレース決勝とする。同記録の場合には、写真判定装置を使用した場合は写真を拡大して判定する。それでも判定がつかない場合は、同着とする。なお、100mについては、予選記録上位8名で決勝を行い、記録上位9～16名でB決勝を行う。ただし、B決勝での記録が決勝の記録を上回っても8位以内の位置づけにはならない。
- ③セパレートレーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンを空けて競技を行う。
- ④400mまでのトラック競技とリレーの第1走者は、スターティングブロックの使用を認める。
- ⑤800m以上の競走競技は、全てオープンレーンでのスタートで行う。なお、状況によりグループ別スタートを行うこともある。

⑥ハードル競技は次の規格で行う。

種目	高さ	スタート～第1ハードル	インターバル	最終ハードル～フィニッシュ	台数
1年女子100mH	0.762m	13.00m	8.00m	15.00m	10台
2年女子100mH	0.762m	13.00m	8.00m	15.00m	10台
3年女子100mH	0.762m	13.00m	8.00m	15.00m	10台
3年女子100mYH	0.762m	13.00m	8.50m	10.50m	10台
1年男子100mH	0.838m	13.00m	8.50m	10.50m	10台
2年男子100mH	0.914m	13.72m	9.14m	14.02m	10台
3年男子100mH	0.914m	13.72m	9.14m	14.02m	10台
3年男子100mJH	0.991m	13.72m	9.14m	14.02m	10台

⑦フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左上から下に行く。2列に記載されている場合は、左列の後右側が行う。

⑧走幅跳・砲丸投の試技について、全員3回の試技を行い上位8名が引き続きトップ8の試技を3回行い最終順位を決定する。が、申し込み人数によっては競技場の関係で3回の試技で順位を決定する場合もある。

⑨砲丸投競技は次の規格で行う。

種目	重さ
1・2年男子	4Kg
共通 男子	5Kg
1・2年、3年女子	2.721Kg

⑩走高跳のバーの練習の高さ及び上げ方は次の通りとする。ただし、参加競技者の競技力等を判断し、現地で変更する場合もあり得る。

種目	練習	競技
男子	1m40or1m55	1m45 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m73 以後3cm
女子	1m20or1m35	1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m48 以後3cm

※1位決定のためのバーの上げ下げは2cmとする。

⑪用器具は全て主催者が用意するので、それ以外の物の使用は認めない。ただし、リレーの助走マークについては各校で用意すること〔使用したマークはレース後、各校で責任をもって取り外すこと〕。

4 不正スタートについて

- ①一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。
- ②不正スタートとは、号砲前に「手が地面から離れる」「足がスターティングブロックから離れる」ことだけではなく、「スタート動作を起こしていれば」不正スタートとなる。
- ③不適切行為（速やかに構えない、「セット」で静止しない、ピクつく等）をした競技者へは出発係が口頭で注意を与える。

- ④同一の競技者が同一のレースで二度不適切行為を繰り返した場合は、審判長もしくはスターター主任がイエローカードを提示し警告を与える。
- ⑤同一の競技者が同一のレースで三度不適切行為を繰り返した場合は、審判長もしくはスターター主任がイエローカードを提示した後にレッドカードを提示して当該種目の失格を宣言するが、他種目への出場は妨げない。
- ⑥イエローカードは同一種目内での累積とする。

5 スタートのコマンドについて

スタートのコールはイングリッシュ・コマンドとする。具体的には

位置について 用意 やり直し

『オン・ユア・マークス』『セット』『号砲』『スタンド・アップ』となる。

6 番号布〔ナンバーカード〕

- ①番号布〔ナンバーカード〕は、大会本部で用意したものを使用する。胸と背に四隅を安全ピンで止める。ただし、跳躍種目の競技者のナンバーカードは、背または胸のどちらか1枚でよい。
- ②トラック競技に出場する競技者には写真判定用の腰ナンバーカードを貸与する〔招集場所で配布〕ので、ランニングパンツ右腰やや後方に付ける。なお、競技終了後直ちに回収するので、すぐに取り外し係員へ渡す。

7 表彰

《足立区内中学校》①足立区中体連より、各種目8位までに賞状を授与する。

なお、8位までとは足立区内中学校での順位であり、トップ8に入っていない場合には、100mB決勝の結果や予選での記録から順位を決定する。

②足立陸協より足立区外中学校をも含めた『総合の部』としても各種目8位までに賞状を授与する。

《足立区外中学校》足立陸協より、『総合の部』として各種目8位までに賞状を授与する。

8 競技場使用上の注意

- ①ビン・缶類の持ち込みは厳禁。
- ②ゴミは各校・各自で責任を持って持ち帰る。
- ③開場後のゲートを開放について、防犯上一部のゲート閉鎖する場合がある。
- ④メインスタンド下のトイレは使用しない。
- ⑤スパイクのピンの長さは9mm以下・走高跳のみ12mm以下とする。

- ⑥ウォーミングアップなどの練習は、競技や他の競技者に十分注意して行う。
- ⑦フィールド競技の練習は、競技開始前に競技場所において競技役員の指示により行う。
- ⑧競技場内にはハードル等の器具は持ち込まないこと。
- ⑨バックストレートを練習で開放する時間もあるが、担当の競技役員の指示に従うこと。

9 その他

- ①引率者のいない学校や競技役員の指示に従えない学校は参加させない。
- ②服装は見苦しくないようにし、ランニングシャツは必ずランニングパンツの中に入れること。
- ③トラック競技の決勝など、スタート前などにアナウンスによる競技者の紹介があったら一歩前に出て手を上げること。
- ④衣類・貴重品の保管、見学席の清掃は各校が責任を持って行うこと。
- ⑤リレーの助走マークは、テーピングテープなどを使用し走り終わったら各チームは必ず責任をもって剥がす〔前走者が次走者のテープを剥がす〕。
- ⑥セパレートレーンを使用する競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン〔曲走路〕を走る。
- ⑦競技者が正面スタンド前を通行することは禁止とする。
- ⑧補助員生徒には、腕章を貸与するので任務終了後速やかに返却すること。
- ⑨各校顧問は競技役員としてあたっていただくので、必ずご協力下さい。また、卒業生や補助員のご協力もお願い致します。

10 「東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会」の選考について

《足立区内中学校》においては、本大会の成績を参考に選考を行うが、本大会のみでは決定しない。選考に際しては陸上競技専門部にて決定し、後日各校・競技者に連絡する。

「第71回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会」

期日：平成30年10月20日（土）・21日（日）

場所：都立駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場